

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第72回 ビジネス文書実務検定試験 (6.6.30)

第1級

ビジネス文書部門 筆記問題

(制限時間15分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔 注 意 事 項 〕

1. 試験委員の指示があるまで、問題用紙と解答用紙に手を触れてはいけません。
2. 問題は1から8までで、3ページに渡って印刷されています。
3. 試験委員の指示に従って、解答用紙に「試験場校名」と「受験番号」を記入しなさい。
4. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
5. 試験は「始め」の合図で開始し、「止め」の合図があったら解答の記入を中止し、ただちに問題用紙を閉じなさい。
6. 問題が不鮮明である場合には、挙手をして試験委員の指示に従いなさい。なお、問題についての質問には一切応じません。
7. 問題用紙・解答用紙の回収は、試験委員の指示に従いなさい。

受験番号

1 次の各文は何について説明したものか、最も適切な用語を解答群の中から選び、記号で答えなさい。

- ① 主に電子メールで日本語を扱う際に利用される符号化方式のこと。
- ② 他の作業と並行して印刷できる機能のこと。
- ③ 文字・図形・画像などをパソコンなどで編集し、印刷物の版下を作成する作業のこと。
- ④ 当面使う予定のない文書を、必要に応じて取り出せるように整理し、書庫など別の場所で管理すること。
- ⑤ 文書の本文とは別に同一形式・同一内容の文字列をページの下部に印刷する機能のこと。

【解答群】

- | | | |
|-----------|---------------|----------|
| ア. 差し込み印刷 | イ. DTP | ウ. ヘッダー |
| エ. フッター | オ. JISコード | カ. 文書の保存 |
| キ. 文書の保管 | ク. バックグラウンド印刷 | |

2 次の各文の下線部について、正しい場合は○を、誤っている場合は最も適切な用語を解答群の中から選び、記号で答えなさい。

- ① ユーザが作成してシステムに登録した文字のことを外字という。
- ② ローカルプリンタとは、同じ建物などの中のLANなどを經由して、パソコンと接続されているプリンタのことである。
- ③ USBポートとは、液晶画面などを見る作業を長時間続けることで引き起こされる健康上の問題のことである。
- ④ テキストメールとは、メール本文の文字修飾に加え、マークアップ言語を用いてページ編集ができるメールのことである。
- ⑤ 文頭の1文字を大きくし、強調する文字修飾のことを文頭表示という。

【解答群】

- | | | |
|-----------|---------------|-------------|
| ア. VDT障害 | イ. マルチウィンドウ | ウ. 禁則処理 |
| エ. マルチシート | オ. HTMLメール | カ. ドロップキャップ |
| キ. 組み文字 | ク. ネットワークプリンタ | |

3 次の各問いの答えとして、最も適切なものをそれぞれのア～ウの中から選び、記号で答えなさい。

- ① 水無月は何月の異名か。
ア. 1月 イ. 6月 ウ. 11月
- ② 9月の時候の挨拶として適切でないものはどれか。
ア. 残暑の候、 イ. 初秋の候、 ウ. 清涼の候、
- ③ 「春もたけなわの今日このごろ、」は何月の時候の挨拶か。
ア. 2月 イ. 3月 ウ. 4月
- ④ ショートカットキー **Ctrl** + **A** により実行される内容はどれか。
ア. 上書き保存 イ. すべて選択 ウ. 下線
- ⑤ 「Unicodeの文字コードと文字を相互変換」を実行するショートカットキーはどれか。
ア. **Ctrl** + **X** イ. **Ctrl** + **N** ウ. **Alt** + **X**

4 次の<A群>の各説明文に対して、最も適切な用語を<B群>の中から選び、記号で答えなさい。

<A群>

- ① 資料収集、内容整理、聴衆分析、スライドの作成、配付資料作成など、プレゼンテーション直前までの活動のこと。
- ② スライドのひな形（テンプレート）のこと。
- ③ 話を聞いて理解してもらえるように、聞き手に視線を送ること。
- ④ ホットプラグや給電、集線できるなどの機能があり、周辺装置を接続するために利用されているインターフェースのこと。
- ⑤ プレゼンテーションで説明や提示などをして説得をする対象となる顧客、依頼人、得意先などのこと。
- ⑥ 文書に盛り込まなくてはならない基本的内容を表すもので、誰が・なぜ・いつ・どこで・何を・どのようにのこと。
- ⑦ スライドを表示する際やポイントとなる場面で、短く音を鳴らすこと。

<B群>

ア. クライアント	イ. スライドマスタ	ウ. 5W1H
エ. リサーチ	オ. 7W2H	カ. アイコンタクト
キ. USB	ク. サウンド効果	ケ. 発表準備
コ. VGA		

5 次の各文の〔 〕の中から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ① 取り引きに先立ち決定された条件などを書き込み、その確認として双方の押印やサインをした文書を〔ア. 承諾書 イ. 決裁書 ウ. 契約書〕という。
- ② 〔ア. 苦情状 イ. 詫び状 ウ. 督促状〕とは、取引先に対して、期日に遅れている取り引きの実行を促すための文書のこと。
- ③ 一般に対して、ある事実を公表し広く一般に知らせるための文書のことを〔ア. 公告 イ. 帳簿 ウ. 目論見状〕という。
- ④ 〔ア. 取引先などに対して、不明な事項を質問し、回答を求めるための文書 イ. 代理であることを証明するための文書〕のことを委任状という。
- ⑤ 受け手の気持ちを害したり乱したりしないために、使わないもしくは言い換えるべき語句のことを〔ア. 忌み言葉 イ. 禁句〕という。
- ⑥ 自分の立場から行うことを謙遜する際に用いられるのは、「はなはだ〔ア. 僭越 イ. 鞭撻 ウ. 賜物〕ながら」である。
- ⑦ 漢字やひらがな、カタカナなどの、全角を基本とした日本語を表示・印刷するための文字のデザインを〔ア. 和文フォント イ. 欧文フォント ウ. プロポーショナルフォント〕という。
- ⑧ 受け取ったメール本文と添付ファイルをコピーして、他の人宛てのメールを作成するために押すボタンは、〔ア. 返信 イ. 転送 ウ. 移動〕である。



6 次の各文の下線部の読みを、ひらがなで答えなさい。

- ① 会議の終了後は適宜帰ることになった。
- ② 1週間で演技のコツを会得した。
- ③ 歯列矯正でマウスピースを装着する。
- ④ スポーツマンは平衡感覚がすぐれている。
- ⑤ 都会の喧噪を離れて一人キャンプを楽しむ。

7 次の各文の〔 〕の中から、四字熟語の一部として最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ① 祖父は〔**ア**. 傾向 **イ**. 蛍光 **ウ**. 鶏口〕牛後の気持ちで起業した。
- ② 〔**ア**. 不撓 **イ**. 埠頭〕不屈の精神で、巨大魚の探索を続けた。
- ③ 〔**ア**. 機器 **イ**. 危機 **ウ**. 鬼気〕一髪でピンチを脱した。
- ④ 一意〔**ア**. 線審 **イ**. 潜心 **ウ**. 専心〕して勉強に励む。
- ⑤ 彼は品行〔**ア**. 縫製 **イ**. 方正 **ウ**. 砲声〕で信頼できる。

8 次の<A>・の各問いに答えなさい。

<A> 次の各文の下線部の漢字が、正しい場合は○を、誤っている場合は〔 〕の中から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ① 引退試合に勝利して夕集の美を飾った。〔**ア**. 優秀 **イ**. 憂愁 **ウ**. 有終〕
- ② 退院後は自宅で良容する。〔**ア**. 両用 **イ**. 療養〕
- ③ りっぱな大人に整腸したものだ。〔**ア**. 成長 **イ**. 声調 **ウ**. 静聴〕
- ④ 不要になった携帯電話を灰器処分にした。〔**ア**. 排気 **イ**. 廃棄〕
- ⑤ 独自の視点で研究をすすめる。〔**ア**. 支店 **イ**. 始点〕

 次の各文の下線部に漢字を用いたものとして、最も適切なものを〔 〕の中から選び、記号で答えなさい。

- ⑥ 志望する会社のえんかくを調べた。〔**ア**. 遠隔 **イ**. 沿革〕
- ⑦ 会場は新設のかいかんを予定している。〔**ア**. 会館 **イ**. 快感〕
- ⑧ ふしょうながら私が司会を務めさせていただきます。〔**ア**. 府省 **イ**. 負傷 **ウ**. 不肖〕
- ⑨ サプライズでアイドルがステージにとうじょうした。〔**ア**. 登場 **イ**. 搭乗 **ウ**. 東上〕
- ⑩ 目的地に向けて車をはっしんさせる。〔**ア**. 発信 **イ**. 発疹 **ウ**. 発進〕

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第72回 ビジネス文書実務検定試験 (6.6.30)

第1級

ビジネス文書部門 実技問題

(制限時間20分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 余白は上下左右それぞれ25mmとすること。
- 指示のない文字のフォントは、明朝体の全角で入力し、サイズは12ポイントに統一すること。(12ポイントで書式設定ができない場合は11ポイントに統一すること。)ただし、プロポーショナルフォントは使用しないこと。
- 複数ページに渡る印刷にならないよう書式設定に注意すること。

〔注意事項〕

- ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
- A4判縦長用紙1枚に体裁よく作成し、印刷すること。
- 訂正・挿入・削除・適語の選択などの操作は制限時間内に行うこと。

オブジェクトやファイルなどのデータは、試験委員の指示に従い、挿入すること。

受験番号

第72回 ビジネス文書実務検定試験 (6.6.30)

第1級 ビジネス文書部門実技問題 (制限時間20分)

【問題】 次のⅠ～Ⅳに従い、右のような文書を作成しなさい。

参考：農林水産省 作物統計調査 令和4年産野菜生産出荷統計

Ⅰ 標題の挿入

出題内容に合った標題のオブジェクトを、用意されたフォルダなどから選び、指示された位置に挿入しセンタリングすること。

Ⅱ 表作成

下の資料A・B並びに指示を参考に表を作成すること。

資料A

単位 年間出荷量：トン 出荷量前年比：%

都道府県名	年間出荷量	出荷量前年比	取組内容
北海道	26,200	99	かんがい施設と区画整理にあわせた路の整備
埼玉県	13,300	97	スーパーセル苗を活用して冬季の栽培を推進
長野県	11,100	102	専用肥料を開発したことで作業の省力化に成功
愛知県	14,100	104	安定出荷を確立するため冬季に適した品種を選定
徳島県	10,900	101	耐候性に優れた育苗ハウスを導入
香川県	17,200	100	ICTを活用した出荷予測システムを構築

12,700

資料B

単位 10a当たり収量：kg 作付面積：ha

都道府県名	10a当たり収量	作付面積
北海道	902	3,060
埼玉県	1,300	1,190
長野県	1,020	1,130
愛知県	1,550	972
大阪府	1,410	32
徳島県	1,200	974
香川県	1,020	1,300

トル

指示

- 表は、行頭・行末を越えずに作成し、行間は、2.0とすること。
- 罫線は右の表のように太実線と細実線とを区別すること。
- 表の枠内の文字は1行で入力し、上下のスペースが同じであること。
- 右の表のように項目名とデータが正しく並んでいること。
- 表内の「作付面積」と「年間出荷量」の数字は、明朝体の半角で入力し、3桁ごとにコンマを付けること。
- ソート機能を使って、表全体を「作付面積」の多い順に並べ替えること。
- 表の「年間出荷量」の合計は、計算機能を使って求めること。

Ⅲ テキスト・オブジェクトの挿入

- 挿入する文章は、用意されたフォルダなどにあるテキストファイルから取得し、校正および編集すること。
- 出題内容に合ったオブジェクトを、用意されたフォルダなどから選び、指示された位置に挿入すること。

Ⅳ その他

- 問題文にある校正記号に従うこと。
- ①～⑫の処理を行うこと。
- 右の問題文にない空白行を入れないこと。
- 右の問題文の a に当てはまる語句を以下から選択し入力すること。

北海道 埼玉県 愛知県

オブジェクト(標題)の挿入・センタリング

ブロッコリーは生活に欠かせない野菜の一つとして、令和8年度から指定野菜に追加されます。そこで、出荷量が多い上位6都道府県について調べました。

都道府県名	取組内容	作付面積	年間出荷量
合 計			

① 網掛けする。

② 各項目名は、枠の中で左右にかたよらないようにする。

④ 左寄せする(均等割付けしない)。

③ 枠内で均等割付けする。

⑤ 右寄せする。

⑥ 「資料」の文字で透かしを入れ、フォントの種類は明朝体、文字の位置は水平とする。

⑦ 右寄せする。

テキストファイルの挿入範囲

単位 作付面積：ha 年間出荷量：トン

農林水産省の統計によると、ブロッコリーは出荷量と消費量が10年で約3割も増えています。ブロッコリーには100種類以上の品種があり、農地で栽培時期をずらして違う品種を育てているので、市場に出回るものはほぼ国産です。ブロッコリーは、たんぱく質や葉酸などを豊富に含みます。また、ブロッコリースプラウトとよばれる新芽には、がん予防の効果がある栄養素が含まれていることから、健康志向の人を中心に人気が高く、若い人からも注目されています。

⑧ 取得した文章のフォントの種類は明朝体、サイズは12ポイントとし、3段で均等に段組みをし、境界線を細実線で引く。

⑨ 枠を挿入し、枠線は細実線とする。

⑩ 枠内のフォントの種類はゴシック体、サイズは12ポイントとし、横書きとする。

オブジェクト
(地図)の挿入位置

表の都道府県の中で、作付面積が最も小さいのはaですが、1.0a当たりの収穫量は日本一を誇ります。特に、東三河地域では、多くの品種を組み合わせで栽培することで、長期出荷を可能にしています。

資料作成：かせやま 孝則

⑪ 矢印の先端が地図内の「東三河地域」の域内に達するように、枠線から図形描画機能で矢印を挿入する。

⑫ 明朝体のひらがなでルビをふり、右寄せする。